

令和 3 年度 学校評価 自己評価書（3 学期）

1 学校の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身ともにたくましい生徒の育成 ・ 確かな学力の向上と個性の伸長 ・ 信頼される開かれた学校
--

2 課題と改善策

	評価事項	職員	改善策
確かな学力	学習目標とまとめの整合性のある授業を行い、問題解決的な授業に努めている。	B	学習目標とまとめの表示板を各教室に常備したことにより、教員が意識するようになった。今後は目標の内容について工夫と共通理解を図りたい。
	Shimizu 班活動学び合い・助け合い活動を教科指導等にも積極的に取り入れ行っている。	B	どの教科も授業の中で、主体的・協同的な学び合いを行っている。今後は、復習テスト等を定期的実施し、基礎的基本的な事象についての理解を深めていく。
	家庭学習の時間確保と確実な実践に向けて、効果的な指導と見届けに努めている。	C	家庭学習 90 分以上の取組はなかなか改善されないのので、インターネット等の利用について考える機会を設定するとともに、ネットを利用した学習にも取組む。
生徒指導	あいさつや言葉づかい、服装など、時と場に応じた「礼を正す」指導に努めている。	B	挨拶は本校のキャッチフレーズにもなっているので、生徒の意識は高い。今後は、校則改正に生徒が主体的になって取組み、保護者の意見も踏まえ、検討していく。
	清掃や緑化、室内の整理・整頓など「場を清める」指導に努めている。	B	幸い校内で新型コロナの感染例はなかったが、今後も感染症予防について、教職員、生徒、保護者等と一丸となって取り組むようにする。
	不登校（傾向）の減少といじめ撲滅に向けて、組織的な取組に努めている。	C	新規不登校の増加に歯止めをかけるためにも、担任だけでなく学年や学校全体で情報共有するとともに、S C 等の関係機関とも協力していきたい。
	学校行事や生徒会活動の活性化に向けて、活動の充実と生徒の主体的な活動の推進に努めている。	B	生徒主体の活動を積極的に取り入れていくことにより、生徒の自己有用感を高められるように指導を工夫していきたい。
進路指導	目的意識を高める進路学習を学年の発達段階に応じて系統的・継続的に行っている。	B	進路だよりを全校に配布することで、1 学年の段階から進路について考えるようになってきた。キャリアパスポートを生かし、効果的な進路指導・キャリア教育を計画的に行っていく。
体力 保健・安全・	交通事故防止や防火・防災、不審者対策等について指導の充実に努めている。	B	幸い本校では大きな事故や災害は起きなかったが、いつ起こるかかわからないことについては、平時から今後も継続して、防災等の意識についても高めていく。
	部活動では保護者の協力を得て「心・技・体」のバランスのとれた生徒の育成をめざして取り組んでいる。	B	まん延防止により、長期にわたり活動できないことが今後も考えられるので、生徒の体力低下を考慮した部活動の奨励と充実を図りながら取り組むようにする。
地域連携	家庭・地域・関係機関との連携及び保護者等外部に対する説明責任を十分に果たしている。	B	P T A のあり方や活動について、保護者と連携し、P T A 活動、家庭教育学級・おやじの会との連携・充実に努める。また、地域教材の活用による郷土教育・地域学習の充実を図っていく。

2 次年度に向けての取組

- ひとり 1 台のタブレット P C がそろったので、今後も、生徒が I C T 機器を積極的・主体的に活用した学習活動の充実を図るようにしていく。
- 教科指導において、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して話し合う活動を積極的に取り入れていくことで、「Shimizu 班活動」を更に充実させ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善をすすめ、学力向上につなげていきたい。

令和 3 年度 学校評価 学校関係者評価書 (3 学期)

1 学校の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身ともにたくましい生徒の育成 ・ 確かな学力の向上と個性の伸長 ・ 信頼される開かれた学校
--

2 課題と改善策

項目	評価事項	改善策	学校関係者
確かな学力	学習目標とまとめの整合性のある授業を行い、問題解決的な授業に努めている。	学習目標とまとめの表示板を各教室に常備したことにより、教員が意識するようになった。今後は目標の内容について工夫と共通理解を図りたい。	B
	Shimizu 班活動学び合い・助け合い活動を教科指導等にも積極的に取り入れ行っている。	どの教科も授業の中で、主体的・協動的な学び合いを行っている。今後は、復習テスト等を定期的実施し、基礎的基本的な事象についての理解を深めていく。	B
	家庭学習の時間確保と確実な実践に向けて、効果的な指導と見届けに努めている。	家庭学習 90 分以上の取組はなかなか改善されないの、インターネット等の利用について考える機会を設定するとともに、ネットを利用した学習にも取組む。	B
生徒指導	あいさつや言葉づかい、服装など、時と場に応じた「礼を正す」指導に努めている。	挨拶は本校のキャッチフレーズにもなっているので、生徒の意識は高い。今後は、校則改正に生徒が主体的になって取組み、保護者の意見も踏まえ、検討していく。	A
	清掃や緑化、室内の整理・整頓など「場を清める」指導に努めている。	幸い校内で新型コロナの感染例はなかったが、今後も感染症予防について、教職員、生徒、保護者等と一丸となって取り組むようにする。	B
	不登校（傾向）の減少といじめ撲滅に向けて、組織的な取組に努めている。	新規不登校の増加に歯止めをかけるためにも、担任だけでなく学年や学校全体で情報共有するとともに、S C 等の関係機関とも協力していきたい。	B
	学校行事や生徒会活動の活性化に向けて、活動の充実と生徒の主体的な活動の推進に努めている。	生徒主体の活動を積極的に取り入れていくことにより、生徒の自己有用感を高められるように指導を工夫していきたい。	A
進路指導	目的意識を高める進路学習を学年の発達段階に応じて系統的・継続的に行っている。	進路だよりを全校に配布することで、1 学年の段階から進路について考えるようになってきた。キャリアパスポートを生かし、効果的な進路指導・キャリア教育を計画的に行っていく。	B
体力・保健・安全・	交通事故防止や防火・防災、不審者対策等について指導の充実を努めている。	幸い本校では大きな事故や災害は起きなかったが、いつ起こるかかわからないことについては、平時から今後も継続して、防災等の意識についても高めていく。	A
	部活動では保護者の協力を得て「心・技・体」のバランスのとれた生徒の育成をめざして取り組んでいる。	まん延防止により、長期にわたり活動できないことが今後も考えられるので、生徒の体力低下を考慮した部活動の奨励と充実を図りながら取り組むようにする。	B
地域連携	家庭・地域・関係機関との連携及び保護者等外部に対する説明責任を十分に果たしている。	P T A のあり方や活動について、保護者と連携し、P T A 活動、家庭教育学級・おやじの会との連携・充実を努める。また、地域教材の活用による郷土教育・地域学習の充実を図っていく。	B

2 次年度に向けての取組

- ひとり 1 台のタブレット P C がそろったので、今後も、生徒が I C T 機器を積極的・主体的に活用した学習活動の充実を図るようにしていく。
- 教科指導において、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して話し合う活動を積極的に取り入れていくことで、「Shimizu 班活動」を更に充実させ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善をすすめ、学力向上につなげていきたい。